



輝け！北っ子

平成29年5月2日発行

5月号

発行責任者 紺野 宗作

5月スタート・・・全力で取り組む運動会

いよいよ運動会の季節、5月になりました。今、学校では運動会に向けて本格的な練習が始まっています。子ども達にとってどんな運動会にすべきか先生方で話し合いを持ちました。今年、学校として力を入れて指導をしていきたいことは、「一人一人が全力で取り組むこと」です。運動会を通じて、どんなことにも最後まで諦めない態度を育成したいです。また、子どもたちから募集したスローガン「完全燃焼・心を一つに栄光の扉開かせよう」のもと精一杯頑張りたいです。

笑顔のある学校を目指して！

今年の学校経営については、PTA総会のときに簡単にふれましたが、具体的にどんなことに力を入れて教育活動をしていきたいのかお知らせいたします。

(平成29年度経営ビジョンはホームページにありますのでご覧ください)

○自ら学び、考え、共に高め合う子ども（敬学の精神の継承）

一番大切にしたいことは、自分から意欲的に学ぼうとする態度の育成です。先生や親に言われての受け身の学習では学力を大きく伸ばすことはできません。

{具体的な実践事項例}

- ・意欲的に子ども同士が学び合う授業づくりに力を入れます。
- ・楽しく家族で取り組む読書を推進し、読書活動の充実を図ります。
- ・家庭と協力して家庭学習の手引きに基づき習慣化を図ります。
- ・ノーメディアチャレンジデー（一中学区連携事業）

○お互いのよさを認め合い、仲よく助け合う子ども

まずは、自分のよさを自覚すること。PTA総会でお話をしました「自己肯定感」の育成を大切にしていきたいです。自分のよさを自覚したとき、人は他人にも優しくなれます。互いのよさを認め合えるような子どもにしていきたいです。

{具体的な実践事項例}

- ・いろいろな人との関わり合う体験活動を創出します。（縦割り班活動など）
- ・仲よく助け合う学級活動や児童会活動にします。
- ・個性を伸ばす特別活動クラブを活性化します。（合唱・合奏・水泳・陸上・剣舞）
- ・あいさつや正しい言葉遣いの定着を図ります。

○生命を尊び、明朗快活で心身ともに健康な子ども

学校は安全第一、子どもは健康第一。子どもは、心身ともに健康でなければがんばる力はありません。子ども自身が自分の健康に関心を持ち進んで体づくりに取り組む子どもにしていきたいです。

{具体的な実践事項例}

- ・身の回りの安全に自ら気づいていこうとする意欲や実践力を育てます。
- ・健康的な食習慣を育成します。
- ・体育の授業を充実します。

美しいものを美しいと感じる心

ある晴れた昼休み。校庭で遊んでいた2年生の男の子が、「校長先生！これっ」と笑顔で右手をぐっとさしのべてきました。その手には数本のタンポポの花束が握りしめられていました。その笑顔は、何も言わなくても「このたんぽぽきれいでしょう。ねえ、見て！」と言いたいことがすぐ分かりました。しかしながら、そのタンポポは、子どもの温かい手で相当の時間握りしめられていたのでしょうか。茎は黒ずみ、かなりしおれていました。私は「早く、教室に行って水を飲ませてあげて」といいました。男の子は「うん」と大きく頷き走っていきました。



しかし、私は同時に別なことを考えていました。「かなりしおれているし、もし水をやってもすぐだめになってしまうだろう。何よりも教室に持って行っても勉強の邪魔になるだけだなあ？捨てさせたほうがよかったなあ。」と……。校長室に戻り、あのタンポポはその後どうなっただろうと少し気になっていました。

放課後、その男の子が私のところに訪ねてきました。「校長先生！これっ」と水に浮かべたタンポポを見せにきてくれたのです。満面の笑顔で。「勉強の邪魔になるから、捨てなさい。」と言わなくてよかったと思いました。

子どもには、多くの感動にめぐり合い、美しいものを美しいと感じる心を育てることが重要だと私も頭では分かっているつもりです。子どもの感性を育てるためには、周りの大人の責任は大きいと感じた出来事でした。

素早く行動できた避難訓練

5/1に避難訓練を行いました。今回はそれぞれ進級し教室も変わったことから、今いる教室からの避難経路を確認し素早く避難できるための訓練です。予め訓練だと分かっているため、児童の中には意外と真剣さを欠く児童がいたりすることもあります。誰一人しゃべる人もなく、放送の指示、先生方の指示をしっかりと守り素早く避難することができました。素晴らしい態度での避難訓練でした。「避難開始」との指示があり、全児童が校庭の鉄棒前に集合し各学年人数確認できるまで、2分36秒でした。

「災害は忘れた頃にやってくる」東日本大震災から6年。今の6年生も震災を体験したのは幼稚園の時。記憶も薄れがちだと思います。学校は安全第一。これからも自分の命は自分で守る教育に力を入れていきたいと思っています。



中央玄関より素早く避難する児童